

科目名	メディア研究C							年度	2026
英語科目名	Media Studies C							学期	前期
学科・学年	マンガ・アニメーション科四年制 アニメーションコース/マンガコース 2年次	必/選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義+演習
担当教員	井上篤史	教員の実務経験		有	実務経験の職種		スクリプトドクター		
<b>【科目の目的】</b> この授業を終えることで、映像作品の時代背景や表現技法を理解し、それらを分析する力を身に付けます。また、自分自身の考えをまとめることで、創造的なアイデアを生み出す力を養います。									
<b>【科目の概要】</b> 様々な作品の時代背景や表現技法などの考察から、今後の作品制作の発想力を養います。									
<b>【到達目標】</b> 将来の作品制作において、より独創的なアプローチを取ることができるようになること。									
<b>【授業の注意点】</b> 出席回数と考察評価。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている			レベル3 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	作品の考察を自らの作品制作に活かすことができた			作品を鑑賞し適切な考察を述べた				作品を鑑賞した	
到達目標 B									
到達目標 C									
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 参考書・参考資料等は授業中に指示する。									
<b>【参考資料】</b> 特になし									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 授業内容の理解度をレポートを提出して評価する。また積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		メディア研究C			年度	2026
英語表記		Media Studies C			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	映像作品の基本的な要素	映像の要素を学ぶ	1 映像作品鑑賞	映像の要素を理解する	3	
2	映像作品の表現手法について学ぶ。	映像の表現手法を学ぶ	1 映像作品鑑賞	表現手法を理解する	3	
3	物語の基本構成についての理解を深め、ビートシートと3幕構成を使って物語を作成することができる。	物語を作成	1 映像作品鑑賞	物語を作成できる	3	
4	キャラクターについて学ぶ。主人公、敵役、脇役、助け手、メンターについて。	キャラクター設定	1 映像作品鑑賞	キャラクター特性を理解する	3	
5	ストーリーボードについて理解を深め、ビートシートと組み合わせることで物語を作成することができる。	ストーリーボード	1 映像作品鑑賞	ストーリーボードを理解する	3	
6	登場人物の心理描写について理解を深め、物語の魅力を高めることができる。	心理描写を学ぶ	1 映像作品鑑賞	物語の魅力を高められる	3	
7	ダイアログについて理解を深め、キャラクターの個性を表現することができる。	ダイアログを把握	1 映像作品鑑賞	キャラクター個性を表現できる	3	
8	背景について理解を深め、物語の世界観を表現することができる。	物語の世界観をつかむ	1 映像作品鑑賞	物語の世界観を把握できる	3	
9	ジャンルについて理解を深め、作品のコンセプトを明確化することができる。	作品コンセプトの明確化	1 映像作品鑑賞	作品コンセプトを明確化できる	3	
10	モチーフについて理解を深め、作品の世界観を表現することができる。	モチーフをつかむ	1 映像作品鑑賞	モチーフについて理解できる	3	
11	語り口について理解を深め、読者や視聴者に情報を伝える方法を考えることができる。	情報を伝える方法を把握する	1 映像作品鑑賞	語り口について理解できる	3	
12	物語の構成や登場人物の設定について学ぶ。	人物設定	1 映像作品鑑賞	物語構成を理解できる	3	
13	物語をより魅力的に、効果的に表現する方法を習得することができる。	物語の魅力を語る方法	1 映像作品鑑賞	物語を効果的に表現する方法を理解できる	3	
14	クリエイティブな発想法について学び、アイデア出しやストーリー構成などの創造的な制作手法を習得することができる。	クリエイティブな発想法	1 映像作品鑑賞	発想法を明確化できる	3	
15	今まで学んだことを踏まえ、作品を分析する。物語の解釈や評価、ストーリーの分析などについて。	ストーリー分析を作品作りに活かす	1 映像作品鑑賞	ストーリー分析ができる	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等